

## 令和4年度決算審査における事業評価シート（分科会まとめ）

事業名 森林の適正管理の推進

## 1. 分科会委員の評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民（市）のニーズを把握した事業となっているか	①なっている(20点)	1	15	近年の予期しない豪雨や獣害対策として、森林特に里山の整備は市民の安全安心にかかわる重要な事業。
	②どちらかといえばなっている(15点)	6		
	③どちらかといえばなっていない(10点)	1		
	④なっているとは言い難い(5点)			
事業の課題、問題点を認識できているか	①できている(20点)	3	15	危険木の除去や間伐など課題は認識されている。基金を原資としているため、必要なスピードで進められているのか疑問が残る。
	②どちらかといえばできている(15点)	5		
	③どちらかといえばできていない(10点)			
	④できているとは言い難い(5点)			
事業に工夫（費用、効率・効果）は見られるか	①見られる(20点)	4	20	地域の自主的な団体を支援し、整備するなどの取り組みは、地域に対する思い入れも醸成でき効果的。
	②どちらかといえば見られる(15点)	3		
	③どちらかといえば見られない(10点)	1		
	④見られるとは言い難い(5点)			
計画、ビジョン、施策等に見合った事業となっているか	①なっている(20点)	1	15	全体として適正な事業となっているが、森林環境基金事業は目的に沿ったより効果的な活用が必要。
	②どちらかといえばなっている(15点)	6		
	③どちらかといえばなっていない(10点)	1		
	④なっているとは言い難い(5点)			
事業の成果	①成果がある(20点)	1	15	危険木の除去や間伐など成果は上がっているが、基金本来の目的に沿った事業を進めるべき。
	②どちらかといえば成果がある(15点)	4		
	③どちらかといえば成果がない(10点)	3		
	④成果があるとは言い難い(5点)			

## 2. 分科会評価

評価		分科会の評価理由
4	4 良好である 76～100点	近年の予期しない豪雨や獣害対策として、森林特に里山の整備は市民の安全安心にかかわる重要な事業。 地域の自主的な団体を支援し、整備するなどの取り組みは、地域に対する思い入れも醸成でき効果的。 危険木の除去や間伐など成果は上がっているが、基金本来の目的にふさわしくない事業が含まれている。
	3 おおむね適正である 51～75点	
	2 問題がある 26～50点	
	1 不適正である 1～25点	

3. この事業に対する提案

提案		提案、提言内容
4	5 拡充する	基金事業は他部署充当（いなべ公園マツ材線虫病防除）などは避け、里山整備事業など本来の目的に沿った活用とすべき。
	4 改善し継続する	
	3 現状のまま継続する	
	2 縮小する	
	1 廃止・休止する	